

第1回 横須賀地区道路ネットワーク検討会

議事概要

1. 日 時 平成29年11月9日（木） 11:00～11:30

2. 場 所 横浜国道事務所 大会議室

3. 出席者

淡中 泰雄	(国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所長) [座長]
本村 信一郎	(国道交通省 関東地方整備局 道路部 計画調整課長)
瀬本 浩史	(神奈川県 県土整備局 道路部 国道調整担当部長)
松尾 寛	(横浜市 道路局 計画調整部長)
渡部 良次	(【代理】横須賀市 政策推進課長)
井上 透	(横須賀市 都市部長)
鈴木 栄一郎	(横須賀市 土木部長)

4. 議 事

(1) 挨拶

・ 関東地方整備局 横浜国道事務所長

(2) 審議

<委員からの主な意見等>

■ 検討会の設立について

- ・ 設立趣意書について了承された。
- ・ 規約について了承された。

■ 横須賀地区の道路について

○ 国道 357 号 (八景島～夏島)

- ・ 国道 16 号の渋滞を解消して道路交通を円滑にし、横須賀の地域経済を活性化するために早期に着工することが必要である
- ・ 東日本大震災や平成 24 年 9 月の集中豪雨など、災害時には交通網が寸断されてきたので、リダンダンシー確保の観点から早期に着工することが必要である
- ・ 横須賀市は基地を抱えており、日本の安全を守る上で極めて重要な役割を果たしており、災害時の道路でのネットワークを確保するために早期に着工することが必要である
- ・ 八景島～夏島間が整備されると、追浜夏島線や船越夏島線が接続路線となるため、交通流対策として夏島交差点のクランクや追浜駅前交差点の改善について検討を行うことが必要である

○国道 357 号（夏島以南）

- 国道 16 号の横須賀市中心部の渋滞を解消するため、また横浜横須賀道路は一部が三浦半島断層群上にあり、国道 16 号は老朽化したトンネルを抱えており、災害時の緊急輸送道路としての脆弱性を克服するためにも、夏島以南について早期に計画を策定する必要がある
- 国道 16 号は老朽化したトンネルが多く、安全な道路交通を確保するために老朽化対策を加速させるべきであり、東日本大震災など災害時には渋滞が発生して交通機能が低下したことを踏まえ、代替ルートを確保していく必要がある
- ルートについては、基地や急傾斜地崩壊危険区域など、周辺の状態を考慮して幅広く検討していく必要がある

以 上